

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和3年2月25日

事業所名 のぞみ園

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	無記名	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 子どもの活動のスペースが十分に確保されているか	7	7	10	0		随時受け入れ体制、環境については見直しを行っていきます
	2 職員の配置数は適切であるか	4	8	12	0		専門職と非専門職の業務振り分けを行い、非専門職職員の配置により周辺業務の振り分けを実施中。今後更に完全な周辺業務の切り離しを行っていく予定
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	8	15	1	0	視覚支援を積極的に導入。また環境作りはその都度子ども達の様子を観ながら職員間で話し合い見直しを行っている	
業務改善	4 生活空間は、清潔で心地よく過ごせるよう環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	10	10	4	0	環境整備、消毒作業のタイムテーブルとチェック表を作成し、実施と確認ができるようにしている。また、月1回衛生委員会を開催し確認するようにしている	感染症対策の徹底と子ども達が安心して遊びこむことができる環境作りを今後も進めていきます
	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定とふりかえり)に、広く職員が参画しているか	7	15	2	0		
	6 保護者向け評価表の活用やアンケート調査等を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善につなげているか	11	12	1	0	毎年12月にアンケートを実施し、その内容をもとに次年度の事業計画を立案	
適切な支援の提供	7 サービスの自己評価の結果や改善の内容を、事業所の会報等で公開しているか	12	11	1	0	結果の配布と事業所内、ホームページ掲載を通して公表、周知している。	
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	11	13	0	0	年2回第3者委員へ評価結果と苦情受付対応の報告を実施し、ご意見を頂いている	
	9 職員の資質向上を行うために、研修の機会を確保しているか	17	7	0	0	今年度より研修委員会を立ち上げ、自分たちが学びたい研修の企画、立案を行っている	他の障がい福祉サービス事業所の見学研修を実施している。また、今後オンラインによる研修を積極的に導入し幅広い学びの機会を作っていく予定
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析したうえで、個別支援計画を作成しているか	9	15	0	0		より客観的視点で分析できるアセスメントツールの見直しを随時行っています
	11 子ども状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	12	11	1	0		
	12 個別支援計画には、子どもの支援に必要な具体的な支援内容が設定されているか	12	12	0	0		
適切な支援の提供	13 個別支援計画に沿った支援が行われているか	7	15	2	0	他クラス職員が臨時に支援に入っても支援の方向性が変わらないように連携会議等で情報の共有をはかっている	
	14 活動プログラムの立案をチームで行っているか	11	12	1	0	クラス毎に日々の振り返りを実施し、その中で活動プログラムについて反省や計画立案を行っている	
	15 子どもが楽しんでプログラムに取り組めるよう工夫(固定化させない、子どもが主体的に選択する機会を設ける等)しているか	10	14	0	0		
適切な支援の提供	16 子どもの状況に応じて、個別・集団による支援を適宜組み合わせて個別支援計画を作成しているか	13	11	0	0		
	17 定期的にモニタリングと個別支援計画の見直し、変更が行っているか(少なくとも6ヵ月に1回は見直しが必要)	8	13	3	0		
	18 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援内容や役割分担について確認しているか	9	13	2	0	日々の振り返りの時に次の日の支援内容や担当割りを確認するようにしている	
適切な支援の提供	19 支援終了後や行事等終了後は、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	13	10	1	0	毎日クラス毎にその日の支援について振り返りを行っている	
	20 日々の支援に関して、記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	15	9	0	0		

関係機関や保護者との連携	21	相談支援専門員が呼びかけるサービス担当者会議に支援にかかる職員が参加することができているか	11	12	1	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	11	12	1	0	奄美市親子教室に参画と見学者の対応については、保健師と情報共有をはかりながら支援を行っている 虐待等緊急を要する事案等においても関係機関と連絡、連携を図りながら早期対応を実施している	
	23	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	11	13	0	0	通園開始前に電話連絡や質問書のやりとりで情報確認を行ったり、必要時は受診同行することで連携を図っている	
	24	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合、子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	11	13	0	0	同上	
	25	移行支援として、保育所やこども園、幼稚園等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10	13	1	0	保育所・幼稚園の見学同行や情報交換会開催等を通して支援を行っている。また、保護者の同意を得て情報提供を実施している	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	12	11	1	0	幼保小連絡会や担当者会、保育所等訪問支援等を通して、連携を図っている	
	27	他の児童発達支援事業所や自立支援協議会・県の療育センター等と連携し、助言や研修を受ける機会があるか	10	12	2	0	県通所事業所連絡会と連携して支援者研修会を開催し、事例発表と検討会を行っている 今年度は、びあリンク奄美主催のリモートでの情報交換会や研修会等に参加している	
	28	地域の自立支援協議会等へ積極的に参加しているか	10	9	5	0	自立支援協議会子ども部会に複数職員を派遣し、その中で児童発達管理責任者会議等にも参加している	参加が一部の職員だけに偏ることがないように、なるべく多くの職員が地域課題を考える機会、地域の支援者とつながる機会作りを進めていきたいと考えています
	29	日頃から子どもの状況を保護者と伝えやすい、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	12	12	0	0	年2回の面談だけでなく、玄関での受け入れの際の声掛け、相談支援のモニタリング面談等においても必要時にお話させていただいている	
	30	保護者の子どもへの対応力の向上を図る観点から、家庭での対応方法などについて助言等の支援を行っているか(ペアレントプログラム等の情報提供・実施も含む)	14	9	1	0	保護者向けペアレントプログラムを実施している	次年度も保護者向けペアレントプログラムを開催予定
保護者への説明責任等	31	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	14	10	0	0	契約時に説明を実施。利用料の変更等あれば、その都度説明と同意書を頂いている	今年度のように制度の変わり目の時は、最新情報をその都度朝礼等で共有したり回覧で職員全體で共通理解を深める取り組みを行っている。また、報酬改定が確定次第、ご家族への説明会を実施予定
	32	個別支援計画書を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から同意を得ているか	12	11	1	0		
	33	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	12	12	0	0		
	34	保護者会の活動を支援したり、保護者会を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	15	9	0	0	今年度より放課後等デイサービス事業の保護者会も立ち上がり、保護者同士のつながりを意識してその活動を支援している	
	35	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があつた場合に迅速かつ適切に対応しているか	13	11	0	0	指針・マニュアルを整備し、受付の際に担当者がすぐに対応できる体制となっている 契約の際に、苦情受付の対応についても説明を行って周知に努めている	
	36	定期的にお便りや事業所内掲示等で、活動概要や行事予定等を子どもや保護者に発信しているか	15	9	0	0	お便り担当者を各事業ごとに定め、毎月編集発行まで管理する体制に今年度よりしている	
	37	個人情報に十分注意しているか	19	5	0	0	入職時研修と年1回全職員を対象に個人情報の取り扱いや守秘義務について研修を行っている	
	38	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	17	7	0	0		
	39	地域住民や地域の関係機関等にも協力をもらしながら行事を行うなど、地域に開かれた事業運営を図っているか	17	7	0	0	今年度は感染症の影響で実施できていないが例年地域の方にも参加いただいて行事を企画、開催している。また、今年度は近隣企業と災害・防犯における協定書を交わし、協力体制作りを行った	近隣住民、近隣企業の参加とご協力のもと、防災・防犯訓練を次年度計画予定
食事の支援	40	給食は栄養バランス屋健康面も考慮された献立となっているか	19	5	0	0		
	41	給食の味付け、量、温度は適切か	14	8	2	0		
	42	子どもたちが楽しみに感じる食事環境・食事メニューの提供を行っているか	15	8	1	0	喫食調べやアンケート結果をもとに給食委員会でも検討した上でメニューの提案を行っている	
	43	個別の状況に合わせた食事の支援がなされているか	22	2	0	0	アレルギー・食事形態等については、アセスメントをもとに、給食委員会等でも共有した上で対応している	

非常時等の対応	44	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	18	6	0	0	感染症の研修を年2回(インフル・ノロ・食中毒)必ず実施している 警察の協力のもと防犯訓練を年1回実施している	
	45	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	19	5	0	0	毎月訓練実施 要保護者の避難計画についても立案済み	今年度、近隣企業と防災、防犯時の協定書を交わさせていただき、次年度合同の訓練を計画予定
	46	虐待を防止するため、職員の研修の機会を確保する等、適切な対応をしているか	16	8	0	0	入職時研修と年1回全職員を対象に研修を行っている	
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、個別支援計画に記載しているか	9	15	0	0	事例なし 身体拘束のマニュアルを整備し、職員研修も年1回実施 毎年、虐待防止・権利擁護研修に職員を参加させ理解を深める取り組みを実施している	
	48	食物アレルギーのある子どもや専門医の指導が必要な子どもについて、医師の指示書や指導に基づく対応がされているか	19	5	0	0		
	49	ヒヤリハット・事故報告書が作成されており、事業所内で内容について周知共有がおこなえているか	19	5	0	0	報告があった次の日の朝礼にて周知共有を行っている	